

労働災害の約8割は、停車時に発生

停車中の危険は、すぐ側に

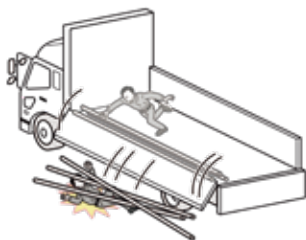
荷台からの転落編

労働災害(陸上貨物運送事業における死傷災害)は、約8割が荷役作業中、つまり「車両が停車している時」に発生しています。今回は荷台で作業中にアオリが倒れて転落した災害例および対策を紹介します。

災害例

荷台で作業中、アオリが倒れ転落

鉄製のガス管を輸送するため荷台で積み込み作業中、ガス管を整理しようとアオリに手をかけた瞬間、倒れて作業者が積荷とともに転落した。



原因

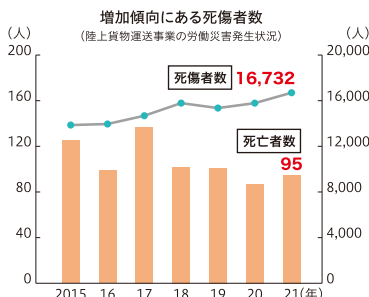
- アオリが確実に閉じられていなかった
- ガス管がアオリ側に積まれていたことで偏荷重がかかり、荷台が傾斜していた
- 危険認識が欠陥していた

対策

- 「アオリ開閉補助装置」を使ってアオリを上げるだけでなく、前後部にあるロック用レバーを確実にかける
- ロック用レバーを赤色でテープングするなどして、レバーが外れていても容易に識別できるような措置を行う
- 荷物の積み降ろしやアオリの開閉について、手順を明確に定め、関係作業者に周知徹底する

労働災害における死傷者数が増加しています！

「墜落・転落」をはじめ、荷役5大災害(①墜落・転落 ②荷崩れ ③フォークリフト使用時 ④無人暴走 ⑤後退時)が近年増加傾向にあります。従業員の命と健康を守るため、改めて荷役作業時における基本行動の確認をお願いします。



荷役5大災害を防ぐ基本行動

① 墜落・転落	必ず保護帽を着用。荷台へのステップなど昇降設備を設置
② 荷崩れ	適切な固定・固縛の実施
③ フォークリフト使用時	オペレーターや周囲の作業者は定められたルールを順守
④ 無人暴走	降車時には必ず逸走防止措置を実施
⑤ 後退時	後退誘導のルールを設定

出典:厚生労働省「職場のあんぜんサイト」『労働災害発生状況』、陸上貨物運送事業労働災害防止協会(陸災防)『陸上貨物運送事業者のみなさま 労働災害が増えています! 荷物の積み降ろしを安全に』